

2024(令和6)年度 部局マニフェスト
～私たちの組織使命と目標～

部局名	防災危機対策局
役 職	参与兼防災危機対策局長
氏 名	山本幸一郎
連絡先	22-9640(内線2850)



業績目標の標語(指導者評価)
目標としていた達成水準を上回る成果を出した(100%超)
目標としていた達成水準に到達した(100%)
わずかに目標の達成水準に達しなかった(90%以上100%未満)
目標の達成水準には届かなかった(60%以上90%未満)
目標の達成水準までは遠い結果となった(60%未満)
目標達成のための取り組みが見られなかった

業績目標	表題	現状や課題	達成水準 (どこまでできれば達成したといえるか)	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. 2-1①				
災害などの危機に強くなる	地域防災力・減災力	<これまでの経緯> 令和5年度 ・伊賀市防災・情報アプリ(ハザードン)の運用を開始 ・地域防災計画の修正 ・避難所運営マニュアル策定取組 <取り組む目的> 地域住民の防災・減災意識が向上するとともに災害等の対応能力が高まる。 <現状分析> 大半の地域では災害等の経験がなく、防災・減災意識がまだまだ低い状況にある。また、災害時の共助ができる体制が十分とは言えない。 <課題> すべての地域が災害等の危機に対応できるよう訓練や研修会等を実施し、能登半島地震を踏まえた体制等の構築(見直し)を行う必要がある。	<目標数値> ・地区防災計画作成地域 令和6年度 13地域(自治協) (※3ヶ年計画) ・伊賀市防災・情報アプリ(ハザードン)登録者数 令和6年度 12,000人 <達成された状態> 地域が地区防災計画に取り組み、地域防災力が向上する。 <手段> ・地域を対象とした研修会等支援を推進する。 ・能登半島地震を踏まえた地域の体制等の構築(見直し)を推進する 地域防災訓練(伊賀市総合防災訓練)の実施 ・地域住民の防災・減災意識を向上させるために伊賀市防災・情報アプリ(ハザードン)を活用するため、登録者数を増やす。	▶	
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. 2-1②				
災害などの危機に強くなる	危機管理体制	<これまでの経緯> 令和5年度 職員の安否確認訓練の実施 職員災害研修(図上訓練)の実施 地域防災計画の修正 危機対応マニュアルの作成 <取り組む目的> 職員の災害等の対応能力を高めるとともに、災害等の危機への組織的対応力を強化する。 <現状分析> 災害等の危機対応について、職員の実践的な経験が十分でなく、危機意識が低い。また、危機事案等に対する組織的対応の経験も少ない。 <課題> すべての職員が災害等の危機に対応できるよう訓練や研修に参加し、能登半島地震を踏まえ、計画やマニュアルの見直しを行う必要がある。	<達成された状態> ・全部局の災害時優先業務の整理が完了する。 ・孤立集落へのMCA無線機や発電機等の適正な配備が完了する。 <手段> ・職員を対象とした研修・訓練を実施 職員安否確認訓練 防災アドバイザーによる職員研修 防災担当者外部研修参加 伊賀市総合防災訓練 ・能登半島地震を踏まえ、災害時優先業務を洗い出す。 ・孤立集落へのMCA無線機、発電機等の配備	▶	